

丁番に関するQ&A

Q1

ドア丁番のサイズは102mm、89mmなど、半端な寸法が多いですが、何故ですか。また、丁番には多くのサイズが揃っていますが、ドアとの関係について教えてください。

A1

102mm、89mmと半端な寸法である理由は、元来がインチであったものをメートル法で表記しているためです。「2×4」など、建築にはインチや尺貫法が多いですが、建築金物もその多くが西欧から入って来たためインチ規格で造られているものが多くあります。造る方も使う方も、長年その寸法で扱い慣れているため、「あえていまさら変える必要もない」ということのようにです。

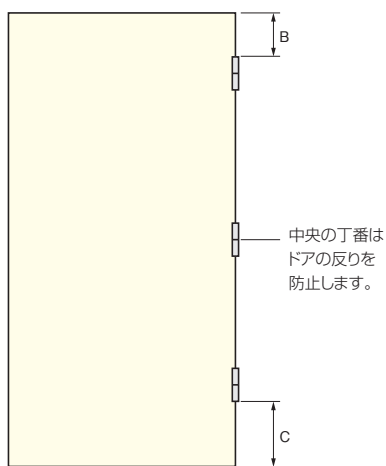
Q2

ドア丁番の正しい取付け位置および使用個数について教えてください。

A2

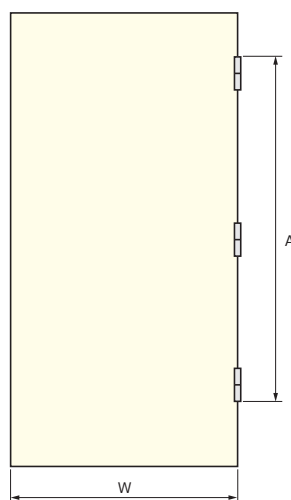
ドア丁番の取付け位置については下図-1と2をご参照ください。
ドアの垂れ下がりや防止するために守りたいドア丁番の取付け位置を示しています。
なお、背丈の高いドアに丁番を3枚以上使用する場合ありますが、これはあくまでもドアの反りを防止するためにお勧めしています。ドアの荷重は1枚の丁番に集中しますので耐荷重効果はあまり期待できません。重いドアにはベアリング入り丁番などをご使用ください。

図-1
丁番の取付け位置



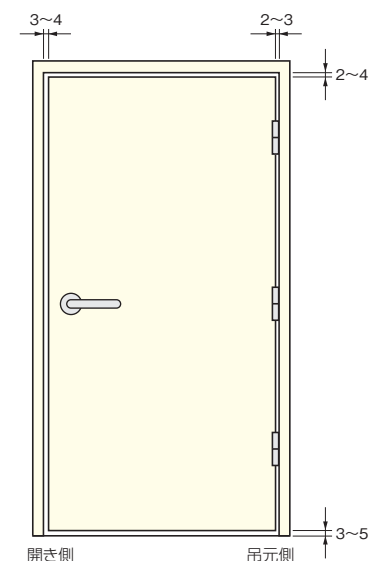
B寸法は丁番の長さの1.5倍、
C寸法は丁番の長さの2倍が望ましい。

図-2
丁番の取付け位置とドア幅との関係



$A \geq W \times 2$ が望ましい。

図-3
ドアと枠との隙間の標準的寸法



※なお、調整丁番をご使用の場合は
この限りではありません。
(58 ページの Q&A5 をご参照ください)